

千代田区立お茶の水小学校



学年	1	2	3	4	5	6	計
学級数	3	2	2	3	2	2	13
児童数	男	41	28	23	34	25	172
	女	38	27	34	28	25	178
	計	79	55	57	62	50	350

5月1日現在

所在地（仮校舎） 〒102-0071 東京都千代田区神田猿楽町1丁目1番1号

電 話 03-3292-0414

FAX 03-3219-2157

Homepage <https://www10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310165>

最寄りの駅 JR線…御茶ノ水 地下鉄…神保町

I 教育の概要

1 学校・地域の特徴

大学をはじめ、各種の学校が多く存在することにより、古くから書店・印刷・製本業・出版社が集中している。また、飲食業、スポーツ用品店、楽器店も数多く見られる。近年、建物の高層化が進み、街の景観が変わり始めている。地下鉄・JRの駅が近く、交通の至便性が高く、昼間は学生やビジネスマン等の行き来で活気にあふれている。地域は学校に対する愛着が強く、学校の教育活動に協力的である。

2 教育目標

(1) 学校の教育目標

日本の伝統文化と世界最先端の文化とが融合する神田の町に位置する小学校として、人としての基礎である人間力を身に付けさせることで、未来において国際社会や地域社会に貢献できる人材の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

明るく 強く たくましく 思いやりをもって 未来を創る人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 明るく：「学んだ事を活かす力」を育成するために

○各学年で身に付けさせたい力を明確にし、教科横断的な視点で指導するとともに、何が身に付いたか検証することで良好な学習のPDCAサイクルを確立する。

○授業観の転換をし、探究的な学習プロセスを通して課題解決を図るとともに、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現させる。

○カリキュラム・マネジメントに基づいた各教科等の年間指導計画を作成し実施する。

○情報活用能力を育成し、根拠を示しながら多面的・協同的・創造的に考え主体的に行動する力を高める。

○コミュニケーションツールとしての英語の学習を児童が意欲的・主体的に学ぶことができるよう充実を図る。

イ 強く たくましく：「やり抜く力」を育成するために

○体力・運動能力調査結果に基づき、運動への意欲、体力・運動能力向上策への取組を進める。また、コーディネーショントレーニング、がん教育等については、外部講師を活用して授業を実施し、体力の向上及び健康教育の充実を図る。

○望ましい食習慣や運動習慣をはじめとする基本的な生活習慣を、家庭・地域との連携を基に推進する。

○オリンピック・パラリンピック教育の学校 2020 レガシーとして、教科横断的な視点に立ち、「豊かな国際理解」「障害者理解」「スポーツ志向」を教育課程に位置付け、共生社会に生きる多様性の尊重を育むことを推進する。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科道徳、外国語・外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

○学習状況調査等、諸調査の結果の分析から児童の実態を把握し「指導改善プラン」を作成する。また、指導と評価の工夫・改善を図ることで、児童の学習意欲及び学力の向上に努める。さらに東京ベーシックドリル・デジタルドリルを活用し基本的な内容の定着を図る。

○算数科の習熟度別指導、ティームティーチングによる指導体制を整備し、小グループでの話し合い活動や課題解決型の学習を通して、自分の考えを理論的に表現できるようにする。

○話し合いに重点を置き、各教科等の特質に応じた質の高い言語活動の充実を図る。身に付けた知識・技能を使って、課題を発見したり、解決に向け努力したりする主体的・対話的な活動を通して、児童の思考力、判断力、表現力を育む学習を意図的・計画的に設定する。

○お茶の水小学びのミニマムを使い、最低限必要と思われる力を確実に児童に身に付けさせる。

○タブレット型端末機を活用した授業を積極的に行うことで、実践的な論理的思考力、自己表現力、問題解決能力を育てる。

○短時間学習において第1学年から第4学年は国語、第5・6学年は外国語の学習を行う。

- 「家庭学習の手引き」等を活用し、家庭学習の定着と充実を図る。
- 情報モラル教育の年間指導計画を作成し、正しく情報を判断したり活用したりする指導を工夫する。また、ICT支援員との連携を図り、タイピングの指導目標を設定し児童のタイピングの技能を高める。
- 各教科や領域の中で、問題の解決には必要な手順があることに気付かせるなどの課題解決を図るプログラミング教育を推進する。
- SDGsカレンダーをもとに世界を変えるための17の目標を全教科に渡って意識させ、世界規模の課題を考えることを通してグローバルに活躍できる児童を育成する。また、17の目標を週案に添付したり、職員室に掲示したりして学校全体で取り組む意識を高める。
- 国や社会の問題を自分の問題としてとらえ自ら考え、判断し行動することを通して問題を解決することに寄与する主権者としての態度を全教科に渡って育成する。
- 自ら課題を立て、解決する取り組みを通して個別最適な学びを実現する。

イ 特別の教科 道徳

- 道徳的实践力を育成するために、学校全体の重点項目を「正直、誠実」、「親切、思いやり」に設定し、道徳教育推進教師を中心に、道徳科の授業を要として教育活動全体を通じて計画的・発展的に道徳的価値を深める授業を行う。
- 特別の教科 道徳を推進するために、教科書及び国や都の教材の活用や、児童の心に響く教材開発を行うとともに、心の教育コーディネーターを活用し、児童の心の成長の把握、指導と評価の在り方について教員研修を一層進める。
- 道徳授業地区公開講座等を充実させ、家庭や地域と連携して児童の心の成長及び実践力を養う。
- 調和と協調を意識した人権尊重教育を推進し、個々のウェルビーイングを向上させ、いじめゼロ、不登校ゼロをめざす。

ウ 外国語・外国語活動

- グローバル化を念頭に置き、デジタル教科書を活用した外国語活動の実施を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- 異文化への関心を高めるために、国際教育推進教師を中心として指導計画の充実を図り、外国語によるコミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を育成する。
- コミュニケーションを図るためのツールとしての言語能力を高めるために、ALTの活用やTGGの体験による指導の工夫を図り、外国語によるコミュニケーションを行う目的や場面、状況を工夫する。
- 高学年は、学年に応じて身に付けさせる4技能5領域の資質・能力を明確にし、目標の実現を目指した授業改善を図るとともに英検ESGを活用する。また、短時間学習は、45分1単位時間の学習と関連させ計画的に指導を推進する。
- 中学年は、聞くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]の各資質・能力を育成するために、多様な状況や体験の場を設定し、コミュニケーションを図る楽しさを味わうことができるように指導を工夫する。

エ 総合的な学習の時間

- 探究的な見方・考え方を働かせ、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するために、探究活動や体験活動を適切に位置付けた学習を計画的に行う。
- 各学年を貫くテーマとして「伝統」と「共生」を設定し、地域、福祉、環境、情報等に関する課題について、各教科等と関連を図り、学習方法に関すること、自分自身に関すること、他者や社会との関わりに関することの資質・能力を育てる。
- 地域人材を活用することで地域を愛し、地域のよさを積極的に発信できる力を育成する。
- プログラミング学習を通して、自分が意図する一連の活動を実現するための手順や組み合わせについてよりよい過程を導き出すプログラミング的思考力を高める。

オ 特別活動

- よりよい人間関係を築く力、協力して課題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てるために、総合的な学習の時間や学校や地域の行事との関連を考慮しながら、望ましい集団活動や体験的な活動を進める。
- 発達段階に応じた思いやりの心、共に生きる心や態度等の社会性を育てるために、併設幼稚園との合同行事、中学校や地域の方・高齢者との交流を計画的に行う。
- 異学年間の交流を深め、お茶の水小学校の一員としての自覚を促すために縦割り班によるファミリー班活動を行い自主的、実践的な態度を育成する。
- よりよい社会を築こうとする態度を育てるために、区の一斉清掃の日に合わせたお茶の水クリーン作戦、千代田区エコシステム(CES)に基づく節電・節水、リサイクル(紙、キャップ回収)運動等、環境教育を学校行事や委員活動等を通して推進する。
- 将来への目標をもって生きる意欲や社会に積極的に参画する態度について、キャリア・パスポートの活用を図るとともに学校2020レガシーと関連させて指導を進め、一人一人のキャリア形成と自己実現への意欲の向上を図る。

(2) 特色ある教育活動

- 地域人材の活用や地元企業と連携し、神田地域の特色を生かした教育活動を推進し、和太鼓、書写(毛筆)、華道、茶道等、日本の文化や地域に伝わる伝統文化・芸能に親しむ活動、地域の特色を学ぶ活動を行う。また、地元への愛着心を育むとともに自国の文化を尊重し、豊かな国際感覚を身に付ける。

4 年間行事計画

4月	入学式、第1学期始業式、定期健康診断始 保護者会、発育測定、交通安全教室（1年）、 1年生を迎える会、全国学力調査（6年）、	10月	学校公開、孺恋自然体験交流教室（5年）、 個人面談、交流会（1年・保・幼）、運動会、 就学時健康診断、校外学習（1、2年） 総合防災訓練
5月	自転車安全教室（3年）引き渡し訓練、 個人面談、区達成度調査（4、5、6年）達成度調 査（2、3年）、箱根移動教室（6年）校外学習（4 年）都学力調査（5、6年）国会見学（6年）、 学校公開	11月	一斉清掃、読書旬間、校外学習（5年）道徳授業地 区公開講座・学校公開 新内節鑑賞（1年・幼）、
6月	ふれあい月間、周年行事、 校外学習（3年）、スポーツテスト、一斉清掃、 セーフティ教室・学校公開、プール開き、 生活科校外学習（1、2年）、読書旬間、定期健康 診断終、学校運営協議会、	12月	保護者会、給食試食会、 TGG（6年）、第2学期終業式
7月	保護者会、音楽鑑賞教室（6年）、第1学期終業式、 岩井臨海学校（4年）	1月	第3学期始業式、伝統文化にふれる会、席書会 書き初め展、発育測定、区連合作品展、
8月	夏季水泳教室（5年）	2月	なかよし月間、交流会（3年・幼）展覧会、学校公 開、開校記念日、読書旬間、薬物乱用防止教室（6 年）、新1年保護者会、6年生を送る会、
9月	第2学期始業式、発育測定、水泳記録会（5年）、 プール納め	3月	保護者会、マーチングバンド引継式、 修了式、卒業式

II 沿革の概要

錦華小学校	小川小学校	西神田小学校
明 6.5.3 開校、第4中学区第二番小学校、 久松学校と称す	明 33.7.1 開校、東京市小川尋常高等小学校と称 す	明 36.9.20 開校、東京市西小川尋常小学校と 称す
明 6.5.26 錦坊小学校と改称	明 33.7.1 校歌制定、落成開校式	明 37.4.1 高等科を置き、東京市西小川尋常 高等小学校と改称
明 7.10 猿楽町2番地（現神保町 1-30） に校舎新築、錦華学校と呼称する	明 32.4.1 高等科を置き、東京市小川女子尋常高 等小学校と改称	明 41.4.1 校名旧に復す
明 19.4.1 錦華尋常高等小学校と 改称	明 41.4.1 小川尋常小学校と改称（男児も収 容）	昭 3.1.20 西神田尋常小学校と改称
明 41.4.1 錦華尋常小学校と改称	昭 3.5.16 校舎竣工（神田小川町 3-6）	昭 16.4.1 西神田国民小学校と改称
昭 7.10.14 創立60周年式典挙行政 校歌制定	昭 18.7.1 小川国民学校と改称	昭 19.8.26 集団疎開、埼玉県羽生町、不動岡 町手子林村、井泉村、新郷村
昭 16.4.1 錦華国民学校と改称	昭 19.8 集団疎開、桜井村	昭 22.4.1 千代田区立西神田小学校と 改称
昭 16.9 創立70周年式典を挙行政	昭 22.4.1 千代田区立小川小学校と 改称	昭 27.9.20 創立50周年記念式典挙行政
昭 19.8.21 集団疎開、埼玉県本庄市	昭 25.7.1 創立50周年記念式典挙行政	昭 28.11.27 体育研究発表会開催
昭 22.4.1 千代田区立錦華小学校と改称	昭 35.10.1 創立60周年記念式典挙行政	昭 32.10.10 校歌制定
昭 27.5.15 創立80周年式典挙行政	昭 41.11.25 区研究協力校発表「国語」	昭 37.2.22 区研究協力校発表「体育」
昭 37.5.15 創立90周年式典挙行政 天皇・皇后両陛下御来校	昭 45.11.25 創立70周年記念式典挙行政	昭 37.10.20 創立60周年記念式典挙行政
昭 37.11.20 都教委研究指定校「道徳」	昭 46.11.11 区研究協力校発表「体育」	昭 39.11.5 都研究指定校発表
昭 44.11.7 区研究協力発表「道徳・特活」	昭 50.2.2 区研究協力校発表「国語」	昭 41.11.18 放送教育研究会全国大会 国語部会会場校として発表
昭 47.5.26 創立100周年記念式典挙行政 皇太子・妃殿下御来校	昭 53.10.20 区研究協力校「心身の調和のとれた健 康」	昭 46.10.20 区研究協力校発表 「特別活動」
昭 51.11.16 区研究協力校発表 「放送教育」	昭 55.10 創立80周年記念式典挙行政	昭 47.10.25 創立70周年記念式典挙行政
昭 56.1.29 区研究協力校発表 「自ら考え進んで学習する 子供を育てる指導法」	昭 59.11.2 東京都代表健康優良学校 表彰	昭 51.12.3 区研究協力校発表

昭 57.5.15	創立 110 周年記念式典挙行	昭 60.11.14	都研究指定校発表 「地域に根ざした教育動」		「社会科」
昭 59.11.16	区研究協力校発表 「国語」			昭 56.11.20	区研究協力校発表 「社会科」
平 元 11.24	学校給食優良学校 文部大臣賞受賞	昭 61.11.8	学研教育賞受賞	昭 57.10.23	創立 80 周年記念式典挙行
平 4.10.24	創立 120 周年記念式典挙行 秋篠宮・妃殿下御来校	平 2.10.6	創立 90 周年記念式典挙行	昭 63.11.14	都人権尊重教育推進校発表
平 5.2.22	文部省研究開発学校としての発表「全教科」	平 3.2.8	区研究協力校発表 「社会科・生活科」	平 5.10.31	創立 90 周年記念式典挙行

お茶の水小学校	
平 5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立お茶の水小学校となる
平 5.11.29	校章制定
平 6. 2.10	校歌制定
平 7.10.19	「全日本よい歯の学校」表彰
平 8. 6.28	全国社会科教育連盟研究発表会授業公開
平 8.12.10	人権の花運動協力により感謝状受賞
平 9.11.28	文部省生活科教育推進校・区研究協力発表「生活科・社会科」
平 14.1.25	区研究協力校発表「社会科・総合的な学習の時間」
平 15.10.31	全国小学校社会科研究協議会「東京大会」・区研究協力校発表「社会科」
平 15.12.1	開校 10 周年記念の集い
平 16.12.17	「社会を明るくする運動」協力により法務大臣賞表彰
平 17.11.9	神田警察署、安全協会より表彰
平 17.11.10	租税教育により神田税務署より感謝状
平 19.2.16	区研究協力校発表「国語力の向上」
平 19.7.21	耐震補強工事（職員室、放送室、主事室、会議室など）
平 20.4.1	校地内に学童クラブ設置
平 20.12.6	プール改修工事
平 21.2.10	開校 15 周年記念集会
平 22.2.19	区研究協力校発表「心と体の健康づくり」
平 25.5.30	警視庁「地域安全運動功労団体賞」受賞
平 26.1.29	区研究協力校発表「自分で考え表現する子の育成」
平 26.2.10	開校 20 周年記念式典
平 28.1.18	東京都オリンピック・パラリンピック教育推進校研究開発校 区研究協力校 研究発表会
平 28.2.26	東京都教育委員会「体力向上推進優秀校」として表彰
平 29.1.16	東京都教育委員会オリンピック・パラリンピック教育重点校（スポーツ志向の普及・拡大）区研究協力校 研究発表会「21 世紀をたくましくいきぬく子どもの育成 ―オリンピック・パラリンピック教育を通して―」
平 30.1.18	東京都「平成 29 年度東京都共助社会貢献大賞 特別賞」受賞
平 30.1.26	区研究協力校「数学的な見方・考え方を働かせ、自立的・協働的に問題を解決する児童の育成」研究発表会
令 元.8	仮校舎に移転 本校舎改築工事開始
令 2. 3	緊急事態宣言発令により休校措置となる。
令 2. 6	緊急事態宣言解除に伴い分散登校開始。夏季休業の短縮が行われる。
令 3. 4	新型コロナウイルス感染症感染予防、学習の連続性を確保のため、ICT を活用した授業や行事が行われる
令 4. 2	学校情報化優良校として認定される
令 5. 2	区内校に向けたオンラインによる校内研究発表会を実施～ICT を効果的に利活用した指導の工夫～
令 5.12	創作クラブが東京都多摩産材木工コンクールにて「都知事賞」を受賞する
令 6. 3. 16	お茶の水小学校・幼稚園落成を祝う会
令 6. 4. 1	新校舎での教育活動開始
令 6. 6. 1	開校 30 周年記念及び新校舎落成記念式典